



令和3年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和4年
No 13
1月7日(金)

生徒の皆さん、様々な場面で大活躍！！

①「弓道班」全国大会で決勝(トーナメント)進出。

第40回記念全国高等学校弓道選抜大会が、12月23日～25日に茨城県の水戸で開催され、個人戦・団体戦に出場しました。23日の個人戦では、2年の**金子大祐**さんが個人戦出場100名中上位45名に入り準決勝進出、さらに**上位24名で争われる決勝に進出**しました。24・25日の団体戦予選(2年**南雲陽大・金子大祐・目黒陽太郎・山崎貴翔**さん4名が出場)では出場60チーム中上位32チームに入り**決勝トーナメント進出**。1回戦は香川県の丸亀城西高校に勝利、2回戦は神奈川県慶應義塾高校に惜敗しましたが**全国ベスト16**という素晴らしい結果でした。

顧問の神津先生によれば、県大会に優勝したあとも、謙虚な姿勢で練習に取組み、女子や1年生を含めた他の班員と切磋琢磨し、普段から準備、片付け、安土整備、草刈りなどの面倒な仕事を地道に行う、などが良かったのでは、というお話でした。

『今回、監督・顧問として、ハラハロドキと一緒に味わわせて頂きとてもありがたく思います。選手達は大会中も弓道に真剣に取り組んで、試合の中で1本1本を大切に思って引くことができ、技術的にも精神的にも向上できたと思います。しかし、まだ全国大会で勝ち進むには技術力が足りないと痛感することができました。これから、春の総体に向けて、班員全員で正射必中を目指して学んで行きたいと思います。』(神津先生談)



②「ECC班」ディベート全国大会第5位

「ECC班」が12月25日・26日に開催(オンライン)された第7回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会で全国第5位となりました。**天谷知香・松澤翠子(2年)、石井友規(1年)**さんの3人のチームが出場。写真の準々決勝の出場校から分かるように全国有数の進学校が参加する中、素晴らしい成績です。以下は対戦校と対戦結果です。



Round 1	栄光学園(神奈川)	○
Round 2	作新学院(栃木)	×
	(今年の準優勝校)	
Round 3	城ノ内(徳島)	○
Round 4	都立富士(東京)	○
準々決勝	聖光学院(神奈川)	×
	(昨年度の優勝校、今年は3位)	

準々決勝			
Table	Government	Opposition	Judge
メイン	1位 作新 プレバ: 1進テーブル	8位 葺合 プレバ: 4進テーブル	吉原(C)★ 井上 三階堂
1進テーブル	7位 長野 プレバ: 1進テーブル	2位 聖光 プレバ: 5進テーブル	泉(C)★ 高栗★ 弓場
2進テーブル	3位 筑駒 プレバ: 2進テーブル	6位 洪洪 プレバ: 6進テーブル	文野(C)★ 西澤 片居木
3進テーブル	5位 藤島 プレバ: 3進テーブル	4位 九段 プレバ: 7進テーブル	福田(C)★ ハワ★ 岡本★

(上) PDA大会終了後、1年生からの感謝の色紙を手に(L.L.教室)スクリーンショット (下左) 対聖光学院戦 (下右) ベスト8校

顧問の徳田先生によれば、12月18・19日にアカデミックディベート全国大会に参加し、全国19位(64校参加)と健闘したあと、一週間後というハードなスケジュールだったとのこと。『この全国大会は6年連続出場しており、今までもベスト8に2回入賞しています。パーラメンタリーディベート(PD A 即興型)は、論題(motion)が発表になってから15分の準備時間で開始となります。従って時事問題、税金・法制度、医療・最先端の科学技術、世界情勢など専門的でホットな情報を幅広く知っていることが重要となります。ECC 班の伝統として、今年も班員全員でできるだけ数多くの論題を予想し、それぞれのアーギュメントの展開例を一覧にまとめて共有し、選手を全力でサポートしました。』(徳田先生談)

今年の論題の一例

Round 1 Plastic products should be taxed. 「プラスチック製品に課税するべきである。」

準々決勝 Wild fish catch should be prohibited and fish should be farmed.

「天然魚の漁獲は禁止し、魚は養殖すべきである。」(この論題で本校はGOV側(肯定側))

③「美術班」少年問題をテーマにした4コマ漫画で表彰

長野県警察本部が主催する「少年問題をテーマにした4コマ漫画コンクール」に本校の美術班の生徒の皆さんが応募して、少年の部において2年の北澤瑠衣・工藤ゆら・海野日菜さんがそれぞれ金賞・銅賞・審査員特別賞を受賞しました。12月14日(火)に校長室で担当の人身安全・少年課の担当者の方が見えて、表彰式を行いました。作品については、長野県警の令和4年のカレンダーに採用されて、写真のように掲載されています。カレンダーは事務室廊下の壁に掛けてあります。

『美術班では年に3回の作品展示の機会(春の展示/文化祭/北信高校美術展)を目標に、各自が新しい作品を作りますが、その合間に各種コンクールなどへの取り組みができれば良いと考えていて、夏休み前に4コマ漫画に取り組んでももらいました。長野高校生の発想力・想像力と美術班の画力が相まって、今回は3人の受賞となり嬉しかったです。』(顧問の恩澤先生談)



手洗い場、トイレ蛇口等が自動水栓へ

県の事業である「感染症対策等の学校教育活動支援事業」の一環として、**接触しないで手洗い**等ができるように、蛇口を自動水栓へと更新しました。トイレ等(写真左)に44台、手洗い場(写真右)に25台を設置しました。吐水時間はセンサ感知30秒程度。手洗い場は手動スイッチにより3分程度連続吐水が可能です。



(生徒の皆さんは、この学校長だよりを読んだあと、保護者の方に渡してください)